

# 小金井市 橋りょう長寿命化計画



令和8年6月改定

小金井市 都市整備部 道路管理課

# 目 次

## 1 橋りょう長寿命化計画の概要

1.1 背景 .....	1
1.2 目的 .....	2
1.3 対象橋りょう .....	2

## 2 対象橋りょうの現状と課題

2.1 点検結果の整理 .....	3
2.2 損傷傾向の分析・課題の抽出 .....	3

## 3 計画全体の方針

3.1 老朽化対策の基本方針 .....	4
3.2 新技術等の活用方針 .....	5
3.3 費用の縮減に関する具体的な方針 .....	6

## 4 計画全体の目標

4.1 新技術活用によるコスト縮減効果 .....	7
4.2 集約・撤去によるコスト縮減効果 .....	8

## 5 老朽化対策における効果

5.1 予防保全型管理への転換 .....	9
5.2 老朽化対策によるライフサイクルコスト（LCC）縮減効果 .....	9
5.3 維持管理コストの平準化 .....	9

## 6 個別の構造物ごとの事項（事業計画）

6.1 事業内容における実施時期の決定条件 .....	10
6.2 事業計画実施時期の整理 .....	11

# 1. 橋りょう長寿命化計画の概要

## 1.1 背景

我が国では、1950年代後半から経済成長に伴って多く整備されたインフラの老朽化が問題化していることや急速な少子高齢化による社会保障費の増大していることで、限られた予算でインフラの維持管理を行わなくてはならない現状です。

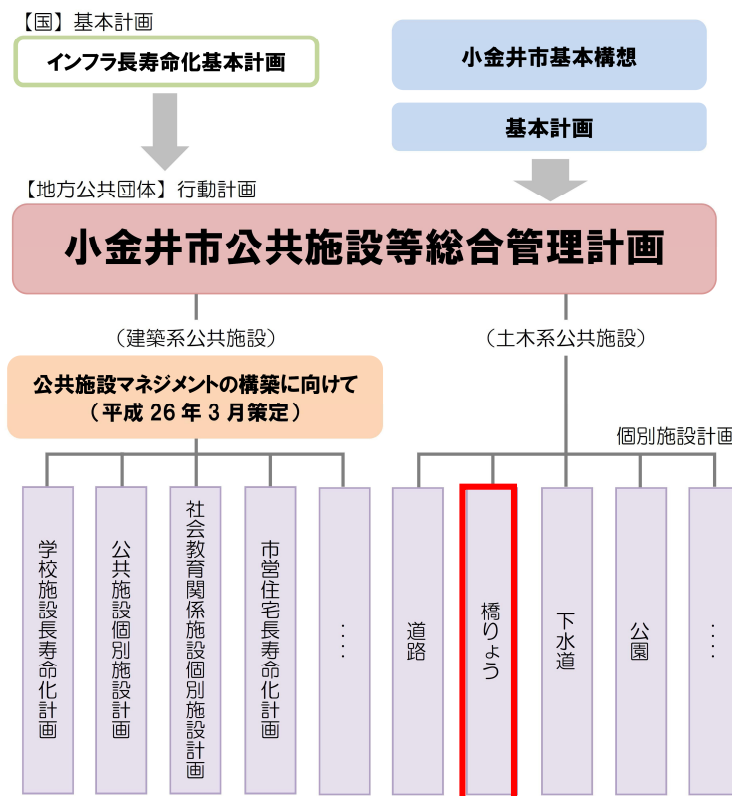
平成24年12月に「笹子トンネル天井板落下事故」が発生したことでインフラの老朽化に対する社会的意識が高まり、平成25年度に「道路構造物の予防保全・老朽化対策」が示された道路法へ改正されました。

翌年の平成26年度に道路橋定期点検要領が制定され、5年に1回の頻度の点検により、本格的な維持管理を開始しています。

本市では、橋りょうの「安全」「安心」を持続的に確保していくため、計画的な管理を行うことによって維持管理費の縮減や平準化を目指し、平成27年度に「橋りょう長寿命化計画」（「第1期計画」）を策定しました。

その後、インフラの維持管理をとりまく環境の変化に対応していくことや直近の定期点検や修繕事業の結果を反映した計画に更新するために「橋りょう長寿命化計画」を改定しています。

なお、本計画は、令和4年3月に改定された「小金井市公共施設等総合管理計画」の個別計画とし、本市のインフラを支える施策のひとつとして位置付けています。



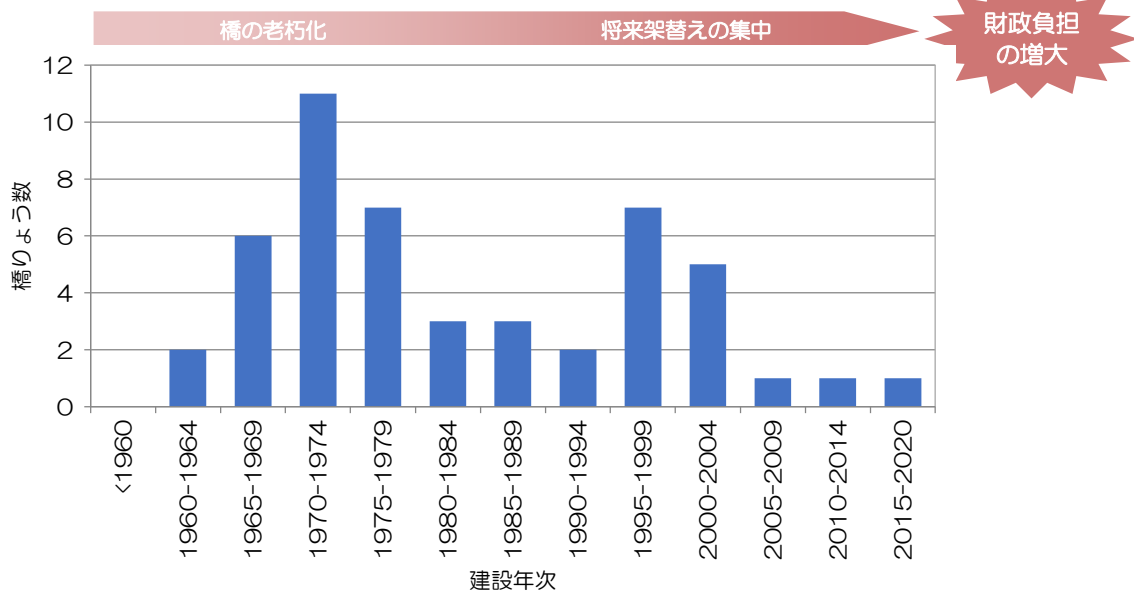
〔計画の位置付け〕

(令和4年3月改定小金井市公共施設等総合管理計画より)

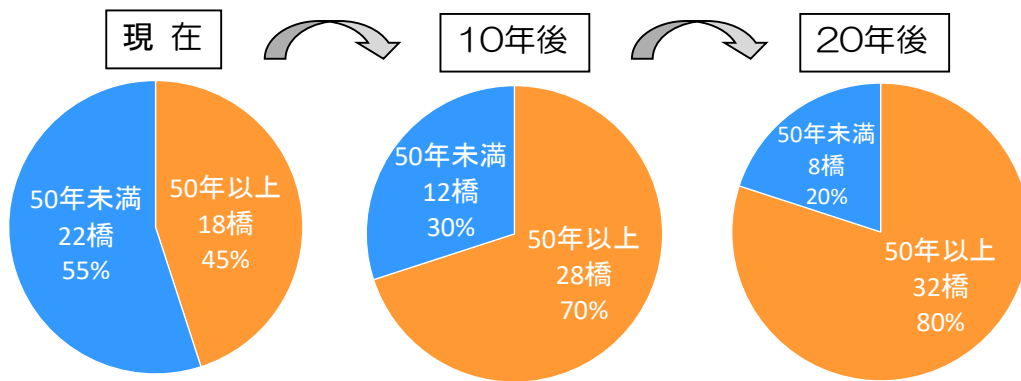
## 1.2 目的

本市が管理する橋りょうは、全部で75橋あります。その多くが、1960年代から1970年代に建設されており、今後、老朽化による架替えが集中し、財政負担が大きくなることが懸念されています。

「橋りょう長寿命化計画」は、予防的な修繕を行うことで、橋りょうの延命化、予算の平準化、維持管理コストの縮減を図り、次世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を、将来にわたり確保することを目的とします。



〔小金井市の橋りょうの建設数〕



〔建設後50年以上の橋りょう数の推移〕  
(計画対象橋りょう50橋のうち、建設年が既知の40橋で算出)

## 1.3 対象橋りょう

橋りょう長寿命化計画の対象橋りょうは、管理橋りょう75橋のうち本市が重要と判断する主要な道路やバス路線上に架けられた橋りょう等の50橋としています。

	1級市道	2級市道	その他市道	市道以外の道路※	合計
全管理橋りょう数	4	10	50	11	75
橋りょう長寿命化計画対象の橋りょう数	3	6	35	6	50

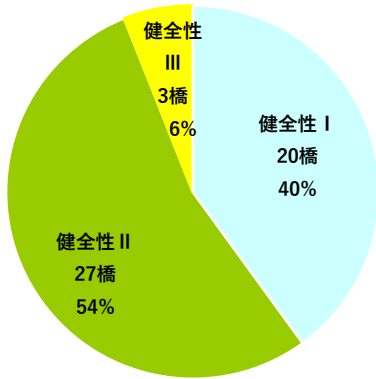
※市道以外の道路とは、施設管理用道路や市が管理する私道等を指します。

## 2. 対象橋りょうの現状と課題

### 2.1 点検結果の整理

対象橋りょうの定期点検結果となる『健全性の診断の区分』は、健全性Ⅰが20橋（約40%）、健全性Ⅱが27橋（約54%）、健全性Ⅲが3橋（約6%）を占めています。本市では定期的に修繕を実施していることから健全な橋りょうが40%になりますが、早期に措置が必要な橋りょうや予防保全的に修繕すべき橋りょうもあり、引き続き橋りょうの維持管理に努める必要があります。

【法定点検の結果】



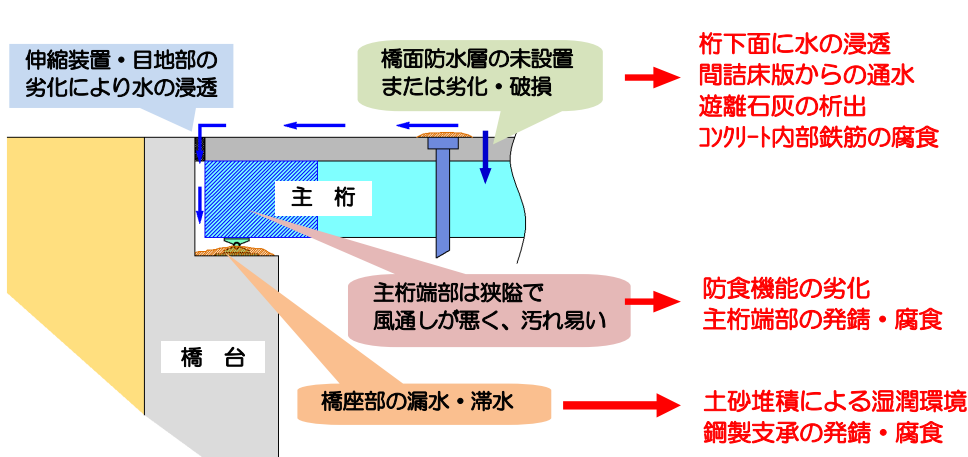
区 分		状 態
I	健 全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予 防 保 全 段 階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早 期 措 置 段 階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊 急 措 置 段 階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

### 2.2 損傷傾向の分析・課題の抽出

点検結果から健全性Ⅱ以上の橋りょうで多く見られた損傷・変状は、鋼部材の腐食や橋台に伝い水、間詰床版からの遊離石灰析出、コンクリートの剥離・鉄筋露出等があります。

これらの損傷は、雨水の吹込みや伸縮装置の劣化による伝い水・漏水、橋面水の浸透等による水分の供給等が原因で発生していると考えられます。

そのため、伸縮装置補修工や橋面防水工等により水分の侵入を抑制するとともに塗替塗装工や断面修復工等で健全性を回復することによって、橋りょうの長寿命化を図る必要があります。



### 3. 計画全体の方針

#### 3.1 老朽化対策の基本方針

■常に橋りょうの健全度を把握するため、定期的に点検を実施します。

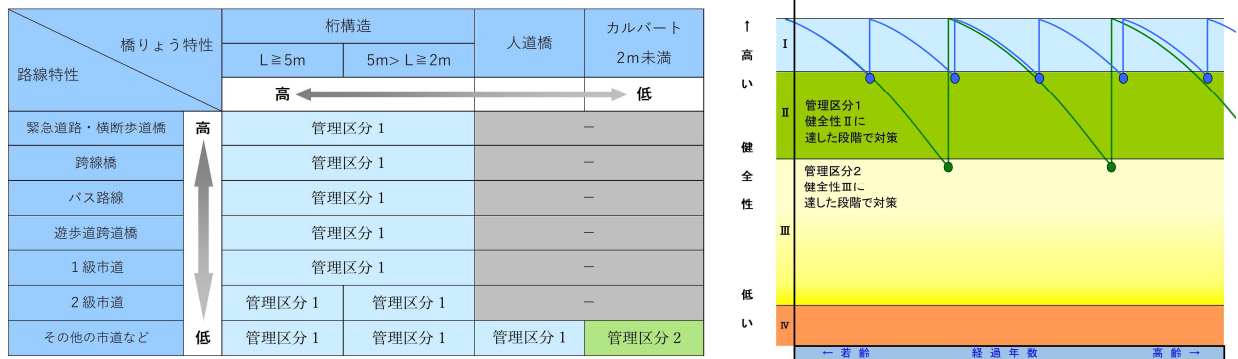
「道路橋定期点検要領」に準拠し5年に1度の定期点検を実施することで、橋りょうの健全性の把握に努めます。

■点検時の健全性の診断結果を、計画時における指標とします。

定期点検結果に基づく健全性の評価を指標とし今後10年間で修繕を実施する橋りょうを選定します。

■計画的に修繕を行うために、橋りょうの管理区分を設定します。

橋りょうの特徴に応じたメリハリのある管理を行うため、管理方法を区分化します。



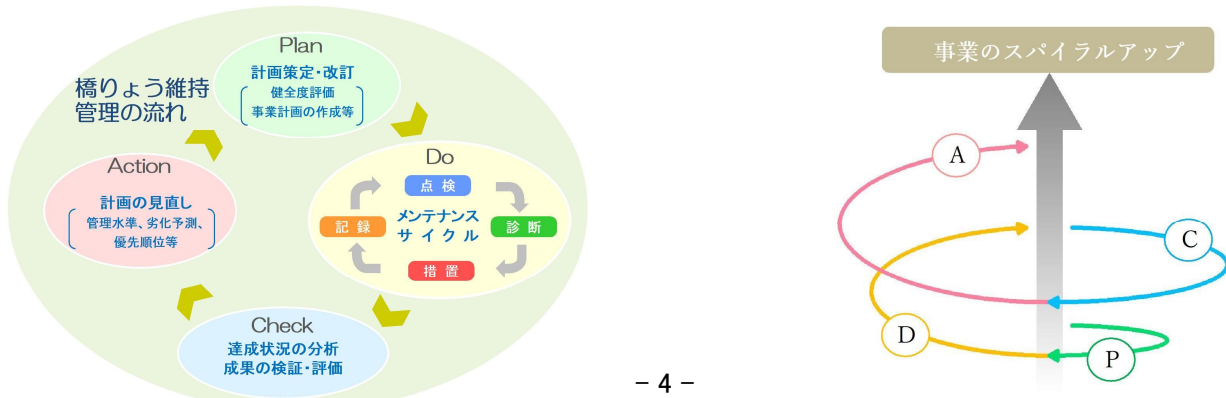
■効果的で合理的な管理を行うために、地域での重要度を考慮した優先順位をつけます。

定期点検結果（健全性 I～IV）に加え、緊急輸送道路、横断歩道橋、跨線橋、バス路線、跨道橋等の路線特性を考慮して、修繕の優先順位を設定します。



■橋りょうを適切かつ継続的に管理するため、定期的に計画の改定（改善・見直し）を図ります。

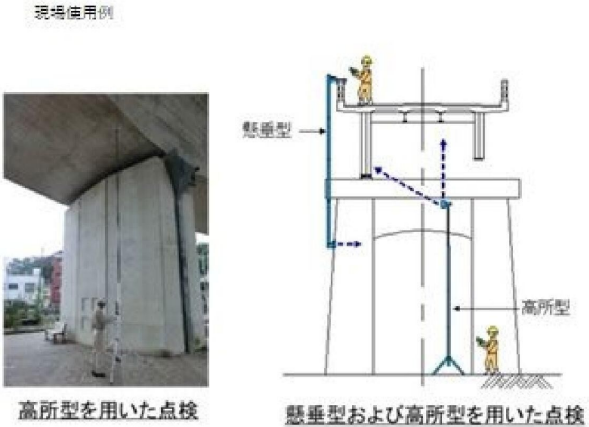
維持管理を進める中で生じる課題に対し、PDCAサイクルを継続的に回すことで、計画の改善・見直しを行い、適切な管理を維持します。



## 3.2 新技術等の活用方針


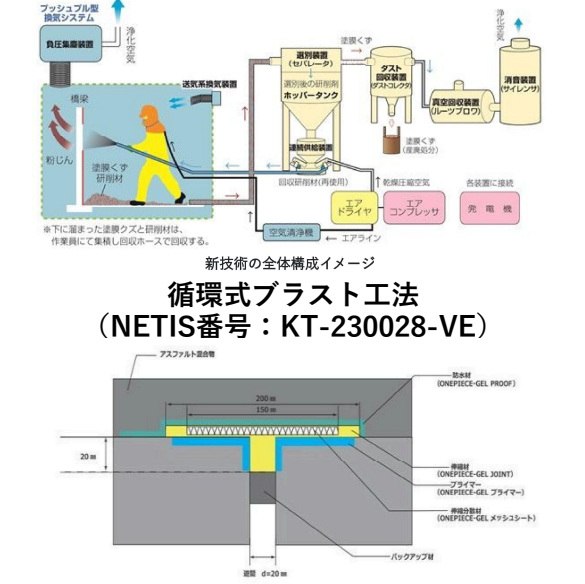
### ■橋りょう点検における新技術の活用

- ①点検における新技術は、「点検支援技術性能カタログ（国土交通省 道路局）」を参照し、適用性のある技術・工法を抽出します。
- ②新技術導入による効果として、「維持管理コスト縮減」や「点検品質の確保・向上」、「点検作業の省力化・安全性の向上」が考えられますが、主に「維持管理コスト縮減」に着目して従来点検手法とのコスト比較により適用可否を検討します。

<p style="text-align: center;">橋梁・トンネル 点検支援技術 性能カタログ</p> <p style="text-align: center;"> <small>本性能カタログは、国が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたものです。</small> </p> <p style="text-align: center;">令和7年4月</p> <p style="text-align: center;">国土交通省 道路局</p> <p style="text-align: center;"><b>点検支援技術 性能カタログ</b></p>	<p style="text-align: center;">現場適用例</p>  <p style="text-align: center;"><b>橋梁等構造物の点検ロボットカメラ</b> (BR010019-V0625)</p>
--	---

### ■橋りょう補修における新技術の活用

- ①補修における新技術は、「NETIS」（新技術情報提供システム）を参照し、適用性のある技術・工法を抽出します。
- ②短期事業計画で修繕が必要と判断した橋りょうで従来工法とのコスト比較により適用の可否を検討します。

 <p style="text-align: center;"><b>NETIS検索画面</b></p>	 <p style="text-align: center;"><b>循環式プラスト工法</b> (NETIS番号：KT-230028-VE)</p> <p style="text-align: center;"><b>伸縮装置及び床版防水の一体化工法(AOS工法)</b> (NETIS番号：CB-170021-VE)</p>
---	--

### 3.3 費用の縮減に関する具体的な方針

橋りょうの予防保全型管理や、点検・修繕時における新技術の活用により、維持管理費用の縮減を図ります。

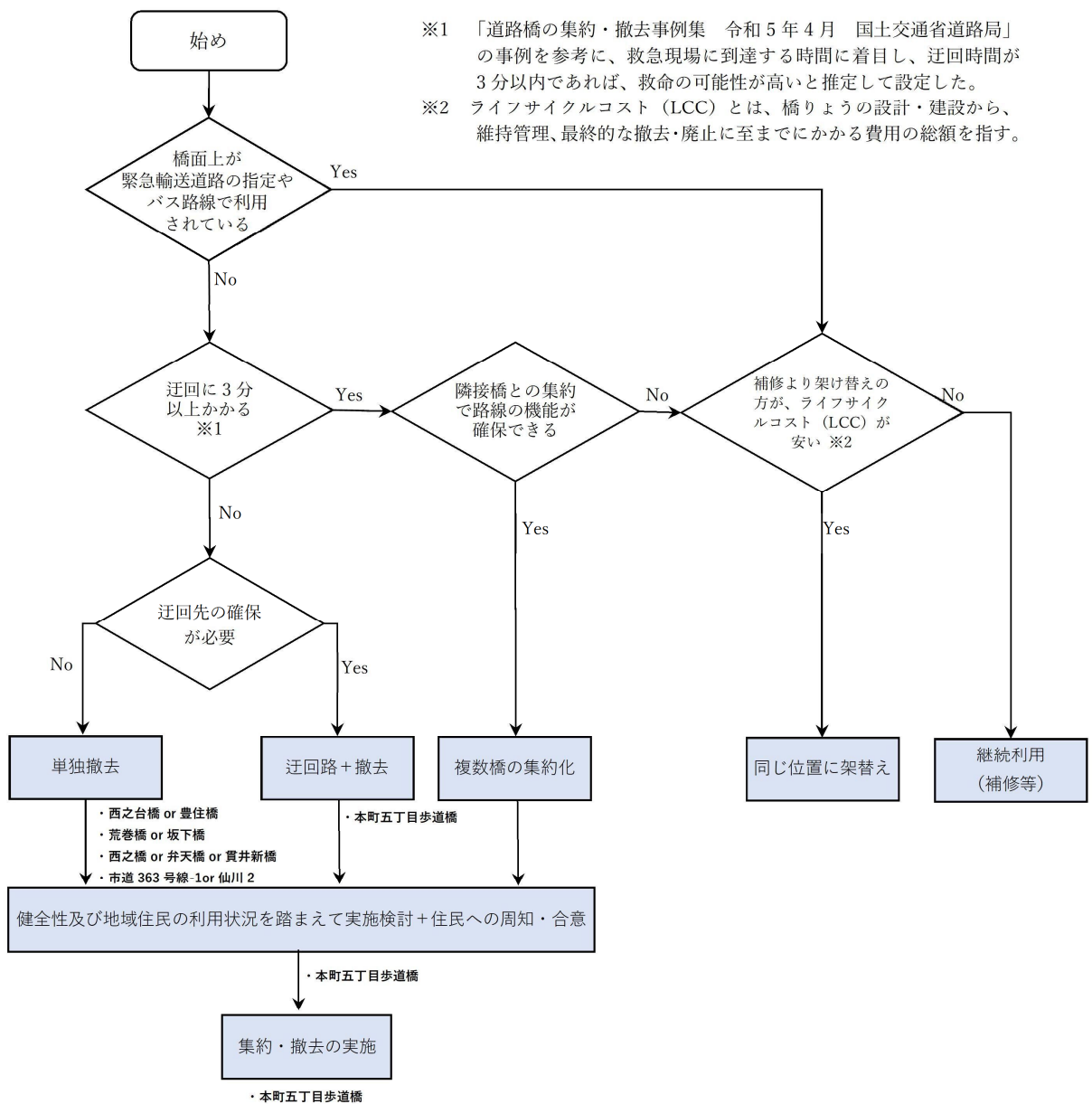
また、橋りょうの利用状況や周辺環境、社会情勢の変化に応じて、橋りょうの集約や撤去を検討し、長期的な維持管理コストの縮減を図ります。以下に集約・撤去の考え方を示します。

#### ■集約・撤去が可能な橋りょうの抽出

橋りょうの架設環境、利用状況、周辺道路網の状況、点検結果の健全性等を踏まえ、集約・撤去が可能な橋りょうを抽出する。

#### ■維持管理コストの比較検討

抽出した橋りょうについて、集約・撤去を行った場合と維持管理を継続した場合のコストを比較し、費用縮減効果を確認する。



〔集約・撤去を検討するための橋りょう抽出フロー〕

## 4. 計画全体の目標

### 4.1 新技術活用によるコスト縮減効果

#### ■橋りょう点検における新技術

本市の管理橋りょうは、全般的に桁下が低く地上・梯子による近接目視点検が可能ですが、高所作業車や交通規制を要する橋りょうの中から「第三小学校北歩道橋」を抽出して、従来点検と新技術を活用した場合のコスト比較を行いました。

従来点検では高所作業車による近接目視点検、新技術の活用ではロボットまたはポールカメラによる状態把握や遠方カメラによる状態把握の方法を選定してコスト比較を行いましたが、コスト縮減の効果は見込まれない結果となりました。

現状では、従来点検による近接目視点検が望ましいですが、技術の進歩等により、今後、適用効果が得られる可能性があるため、点検実施時に再度検討のうえ点検方法を決定します。

#### ■橋りょう補修における新技術

短期の事業計画（10年程度）において、補修を予定する橋りょうの中から、補修項目として多くみられる塗替塗装工や伸縮装置取替工、橋面防水工を抽出して、従来工法と新技術を活用した場合のコスト比較を行いました。

塗膜に鉛の有害物質を含む橋りょうの新技術工法として『循環式プラスト工法【KT-230028-VE】』を選定、漏水対策として橋面防水工と伸縮装置取替工が必要な橋りょうの新技術工法として『伸縮装置及び床版防水の一体化工法(AOS工法)【CB-170021-VE】』を選定して検討を行いました。

抽出した橋りょう9橋で試算した結果、従来工法より新技術を活用することで1,330万円（38%減）の縮減効果と算出しました。この結果より、この9橋において補修の新技術を活用する予定とします。

なお、補修設計・修繕工事を行う際は、改めて新技術の検討を行うこととします。

	従来工法の場合	新技術使用の場合
コスト内訳	塗替塗装工(鉛含有・1種ケレン) ※諸経費含む 1橋分 約 4,900 千円	塗替塗装工(循環式プラスト工法) ※諸経費含む 1橋分 約 2,800 千円
	伸縮装置取替工+橋面防水工 ※交通規制費、諸経費含む 8橋分 約 29,900 千円	伸縮装置及び床版防水の一体化工法(AOS工法) ※交通規制費、諸経費含む 8橋分 約 18,700 千円
	合計 34,800 千円	合計 21,500 千円
コスト縮減効果	縮減効果＝ 13,300千円 38%	
活用可能橋りょう	市道42号線-1、市道718号線-1、市道724号線-1、富士見橋、小長久保橋、市道41号線-1、小金井新橋、緑小橋、仙川2	
	計9橋分	

## 4.2 集約・撤去によるコスト縮減効果

橋りょう抽出フロー（6頁参照）に基づき、集約・撤去を検討できる橋りょうを抽出しました。抽出された橋りょうの中から「本町五丁目歩道橋」については、以下の理由から撤去の方針を定めました。

- ・老朽化と高コスト：点検結果が「健全性Ⅲ（早期措置が必要）」であり、塗膜の鉛含有による有害物質除去も含め、修繕に多額の費用を要します。
- ・迂回路の確保：交差点の状況から、平面交差横断歩道の新設・改良により代替が可能です。
- ・合意形成：通学路の利用状況を近隣の学校へヒアリングを行い、撤去についてご理解をいただいているところですが、引続き関係者並びに関係機関等との十分な協議を行います。

「本町五丁目歩道橋」において、撤去した場合と耐用年数を考慮した今後約50年間の維持管理費を試算し、予防保全型と撤去のコスト比較を行った結果、撤去した場合が約4,977万円（約62%）の縮減効果が見込まれます。

本橋については、令和8年度に撤去に関して関係者並びに関係機関等との十分な協議を行い、実施可能となった場合には令和10年度までに撤去に取り組みます。

今後も社会情勢や周辺環境の変化により、橋りょうの利用状況に応じて集約・撤去の検討も含めて維持管理コストの縮減に努めます。

	予防保全型 (定期的な修繕)	事後保全型 (横断歩道橋の架け替え)	撤去
コスト 内訳	※今後49年のうち2回修繕を行うと想定 修繕工事【1回目】 約 49,700 千円 (有害物質対策考慮)	架替費 約 165,900 千円	撤去費 約 31,000 千円
	修繕工事【2回目】 約 27,200 千円	※架替工事の調査データの単価を参考 撤去費・新設費・仮設費・交通規制費の合算	※歩道橋撤去工事の工法を想定し、積算
	定期点検 約 3,870 千円	定期点検 約 3,870 千円	
	合計 約 80,770 千円 諸経費込み	合計 約 169,770 千円 諸経費込み	合計 約 31,000 千円 諸経費込み
コスト 縮減効果	予防保全型と撤去を比較した縮減効果＝ 49,770 千円 62%		

耐用年数は、定期的な維持管理をすることとして100年を想定する。  
本町五丁目歩道橋の竣工年は「昭和49年(1974年)」であり、供用後51年経過している。  
本町五丁目歩道橋の予防保全型による耐用年数を2074年までと想定し、今後49年における維持管理費の試算を比較する。

## 5. 老朽化対策における効果

### 5.1 予防保全型管理への転換

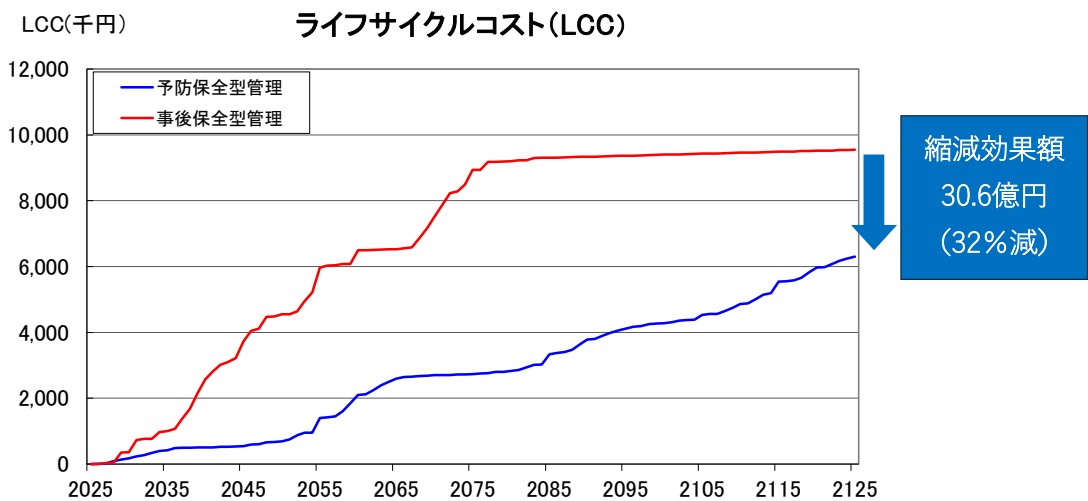
事後保全型で管理した場合は、重大な損傷が発見されるまで橋りょうの状態が放置されます。一方、予防保全型で管理した場合は、定期的な点検により橋りょうの状態を確認し、その結果を各橋りょうに割り当てた管理区分に応じて管理を行うため、重大な損傷が発見される前に修繕を行うことで橋りょうの安全性を確保することができます。

### 5.2 老朽化対策によるライフサイクルコスト（LCC）縮減効果

予防保全型の管理は、修繕に係わるコストを計画的に抑制することにより、架替えや大規模修繕によってコストが大きくなる事後保全型の管理よりもライフサイクルコスト（LCC）の縮減が図れます。

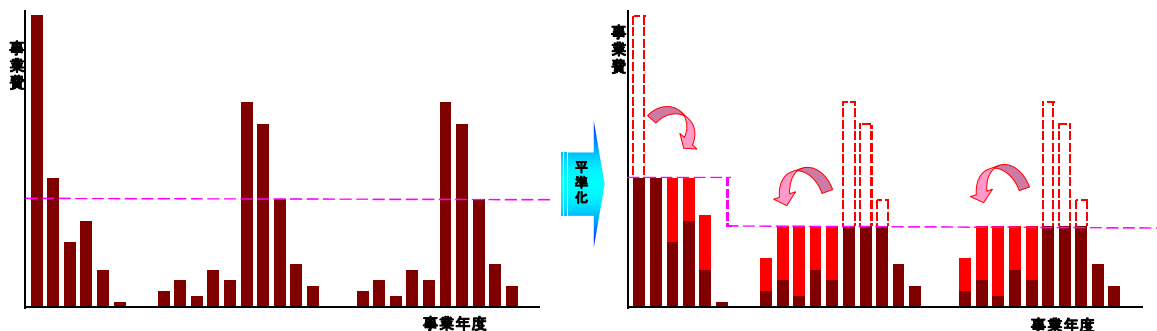
この考え方より今後、100年を対象としたライフサイクルコスト（LCC）の試算では、予防保全型管理の累計額と事後保全型管理の累計額の差は約30.6億円になり、32%の縮減効果が見込めます。

	累計LCC		事後保全的な維持管理 に対する累計LCCの差額	
	金額	割合	金額	割合
予防保全的な維持管理	64.8 億円	68%	30.6 億円	32%
事後保全的な維持管理	95.5 億円	100%	-	-



### 5.3 維持管理コストの平準化

維持管理に係わるコストが短期に集中しないよう、修繕実施時期を計画することにより、維持管理コストの平準化が図れます。



## 6. 個別の構造物ごとの事項(事業計画)

### 6.1 事業内容における実施時期の決定条件

橋りょう長寿命化計画では、定期的な点検や計画の更新、計画的な修繕により橋りょうの長寿命化を目指します。対象橋りょうごとの次回点検時期や修繕時期は、下表に示す条件により決定します。

	実施時期の決定条件
点 検	前回点検からの点検間隔が5年以内となるよう、点検を行う。
計 画 見 直 し	計画見直しは、管理橋りょうの点検が1巡した後に見直しを行う。
補 修 設 計	補修設計は、計画された修繕工事を実施する前年度に行う。
修 繕 工 事	修繕工事は、過年度の工事実績を踏まえて目安予算を設定し、複数年に振り分ける。
撤 去 設 計 撤 去 工 事	集約・撤去の検討で抽出した橋りょうにおいて、設計期間を考慮し設定する。 (関係機関協議などの都合により、変更の可能性もある。)

## 6.2 事業計画実施時期の整理

対象橋りょうごとの次回点検時期及び修繕予定時期を以下に整理します。

事業計画については、「本町五丁目歩道橋」を撤去の場合と引き続き供用する場合の計画を示します。

【本町五丁目歩道橋を撤去した場合】

番号	橋りょう名	構造形式	路線名	所在地	橋長 (m)	全 幅員 (m)	架設 年次	健全 性	点 検 年	対策の内容・時期												
										2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)			
1	新小金井橋	PCブレン床版橋	市道第9号線	関野町2-4地先	10.4	9.7	S41	II	R5			△	◇		○	●	△	◇				
2	梶野橋	PCブレン床版橋	市道第9号線	梶野町3-12地先	10.5	12.7	S40	II	R5			△	◇				△	◇				
3	市道42号線-1	PCブレン床版橋	市道第42号線	本町4-2地先	3.2	5.1	不明	II	R4		△		◇				△	◇	●			
4	上久保橋	RC桁橋	市道第44号線	本町3-3地先	5.1	4.7	S46	I	R4		△		◇				△	◇				
5	緑大橋	RC桁橋	市道第46号線	緑町2-12地先	5.1	6.7	S54	II	R4		△		◇				△	◇	●			
6	市道74号線-1	RC中実床版	市道第74号線	梶野町4-5地先	2.8	2.5	S36	III	R4		△	○	◇●				△	◇				
7	西之橋	PCブレン床版橋	市道第96号線	真井南町4-23地先	15.5	6.2	H14	I	R6			△	◇				△	◇				
8	市道127号線-1	RC中実床版	市道第127号線	梶野町4-19地先	5.0	4.6	不明	I	R4		△		◇				△	◇				
9	市道150号線-1	RC中実床版	市道第150号線	梶野町4-12地先	5.0	4.4	S47	II	R4		△	○	◇●				△	◇				
10	西之台橋	PCブレンT桁橋	市道第312号線	前原町3-6地先	18.7	7.2	H8	I	R5			△	◇				△	◇				
11	大城橋	PCブレンT桁橋	市道第319号線	前原町3-10地先	18.8	6.9	H7	I	R6			△	◇				△	◇				
12	市道363号線-1	PCブレン床版橋	市道第363号線	本町4-3地先	3.1	4.5	不明	I	R4		△		◇				△	◇				
13	浴恩館橋	RC桁橋	市道第410号線	緑町3-2地先	5.3	4.7	S55	I	R4		△		◇				△	◇				
14	市道417号線-1	RC中実床版	市道第417号線	梶野町3-3地先	3.2	4.4	S46	I	R4		△		◇				△	◇				
15	下中橋	RC桁橋	市道第588号線	緑町4-14地先	5.0	4.7	S54	II	R4		△		◇		○	△●		◇				
16	龜久保橋	RC桁橋	市道第597号線	緑町2-10地先	5.1	4.7	S50	I	R4		△		◇				△	◇				
17	弁天橋	PCブレン床版橋	市道第625号線	真井南町4-20地先	15.1	7.2	H12	I	R6			△	◇				△	◇				
18	南陣屋橋	RC桁橋	市道第628号線	緑町3-3地先	4.3	4.7	S56	I	R4		△		◇				△	◇				
19	豊住橋	PCブレンT桁橋	市道第666号線	前原町3-9地先	18.8	5.2	H5	I	R6			△	◇				△	◇				
20	市道689号線-1	RC床版橋	市道第689号線	梶野町4-3地先	5.0	4.4	S48	II	R4		△		◇				△	○	◇●			
21	中前橋	H鋼橋桁橋	市道第333号線	中町1-6地先	23.7	5.8	S52	II	R5			△	◇				△	◇				
22	天神橋	H鋼橋桁橋	市道第577号線	中町4-3地先	23.7	4.8	S53	II	R5			△	◇				△	◇				
23	貴井橋	PCブレン床版橋	市道第9号線	真井北町3-38地先	10.4	9.7	S45	II	R5			△	◇			○	△●	◇				
24	貴井新橋	PCブレン床版橋	市道第394号線	真井南町4-28地先	14.7	5.2	H11	I	R6			△	◇				△	◇				
25	荒牧橋	PCブレン床版橋	市道第561号線	真井南町2-12地先	19.1	5.2	H6	II	R6			△	◇			○	△●	◇				
26	市道703号線-1	RC床版橋	市道第703号線	梶野町4-19地先	4.1	2.4	H8	II	R5		△		◇		○	△●		◇				
27	市道718号線-1	PCブレン床版橋	市道第718号線	梶野町4-12地先	5.2	4.6	S46	II	R5		△		◇				△	○	◇●			
28	市道724号線-1	PCブレン床版橋	市道第724号線	梶野町4-12地先	5.7	4.7	S46	II	R5		△		◇				△	○	◇●			
29	東緑橋	木橋	市道第245号線	緑町2-8地先	4.7	2.0	不明	III	R5		○△	●	◇				△		◇			
30	いちご橋	鋼橋桁橋	市道第582号線	東町1-13地先	21.0	2.6	S44	I	R6			△	◇				△	◇				
31	坂下橋	PCブレンT桁橋	市道第3号線	真井南町4-28地先	18.8	7.2	H9	II	R6			△○	●				△	◇				
32	市道5号線-1	RC床版橋	市道第5号線	梶野町4-20地先	2.9	12.0	不明	II	R4		△	○	◇●				△	◇				
33	富士見橋	RC桁橋	市道第12号線	緑町4-11地先	4.3	6.2	S55	II	R5		△		◇		○	△●		◇				
34	小長久保橋	RC桁橋	市道第28号線	緑町2-14地先	5.9	4.7	S54	II	R4		△		◇○	●			△	◇				
35	市道41号線-1	RC床版橋	市道第41号線	本町4-2地先	3.4	9.9	S42	II	R4		△		◇○	●			△	◇				
36	大城堀橋	PCブレン床版橋	市道第140号線	前原町3-3地先	22.5	8.0	S60	I	R5			△	◇				△	◇				
37	市道140号線-2	PCブレン床版橋	市道第140号線	前原町3-3地先	6.3	6.0	S42	II	R5			△	◇				△○	◇●				
38	丸山橋	H鋼橋桁橋	市道第399号線	中町4-3地先	25.9	9.0	S54	I	R5			△	◇				△	◇				
39	二枚橋	鋼橋飯桁橋	市道第573号線	東町1-7地先	28.4	6.7	S46	I	R5			△	◇				△	◇				
40	第三小学校北歩道橋	PCT桁橋	市道第1号線	梶野町4-5地先	40.0	1.5	S45	II	R6			△	◇				△	◇				
41	本町五丁目歩道橋	鋼橋桁橋	市道第1号線	本町5-33地先	38.4	1.9	S49	III	R6	□	□	■	撤去済み予定									
42	市道471号線-1	RC溝橋 (BOXカルバート)	市道第471号線	真井北町3-4地先	1.3	16.3	H20	I	R5		△		◇				△		◇			
43	市道823号線	RC溝橋 (BOXカルバート)	市道第823号線	真井北町3-3地先	1.2	16.0	不明	I	R5		△		◇				△		◇			
44	平右衛門橋	鋼橋ワイロゲイル橋	不明	緑町3-15地先	12.3	4.1	H27	II	R5			△	◇				△	◇				
45	小金井新橋	鋼橋桁橋	不明	前原町2-17地先	23.8	5.2	S63	II	R5			△	◇	○	●		△	◇				
46	本町新橋	RC桁橋	不明	本町3-13地先	4.3	4.7	S45	II	R5		△		◇				△	◇○	●			
47	緑小橋	RC桁橋	緑小学校	緑町3-3地先	4.9	8.4	不明	II	R5		△		◇○	●			△	◇				
48	中緑橋	RC桁橋	緑センター	緑町3-3地先	4.8	6.3	不明	I	R5		△		◇○	●			△	◇				
49	仙川1	PCブレン床版橋	管理道路	本町4-4地先	4.8	4.0	不明	I	R5		△		◇				△	◇				
50	仙川2	PCブレン床版橋	管理道路	本町6-6地先	3.2	4.5	不明	II	R5		△		◇				△	◇○	●			
事業費合計 (百万円)										8	30	77	52	32	54	61	66	60	18			
概算対策費合計 (百万円)										458												

【凡例】 △：点検 ◇：計画見直し ○：補修設計 ●：修繕工事 □：撤去設計 ■：撤去工事

※ここで示した時期については、今後の情勢により変更の可能性があります。

【本町五丁目歩道橋を引き続き供用した場合】

番号	橋りょう名	構造形式	路線名	所在地	橋長 (m)	全 幅員 (m)	架設 年次	健全 性	点 検 年	対策の内容・時期										
										2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	
1	新小金井橋	PCブレンテ床版橋	市道第9号線	関野町2-4地先	10.4	9.7	S41	II	R5			△	◇		○	●	△	◇		
2	梶野橋	PCブレンテ床版橋	市道第9号線	梶野町3-12地先	10.5	12.7	S40	II	R5			△	◇				△	◇		
3	市道42号線-1	PCブレンテ床版橋	市道第42号線	本町4-2地先	3.2	5.1	不明	II	R4		△		◇				△	◇	●	
4	上久保橋	RC桁橋	市道第44号線	本町3-3地先	5.1	4.7	S46	I	R4		△		◇				△	◇		
5	緑大橋	RC桁橋	市道第46号線	緑町2-12地先	5.1	6.7	S54	II	R4		△		◇				△	◇	●	
6	市道74号線-1	RC中実床版	市道第74号線	梶野町4-5地先	2.8	2.5	S36	III	R4		△	○	◇●				△	◇		
7	西之橋	PCブレンテ床版橋	市道第96号線	貴井南町4-23地先	15.5	6.2	H14	I	R6			△	◇				△	◇		
8	市道127号線-1	RC中実床版	市道第127号線	梶野町4-19地先	5.0	4.6	不明	I	R4		△		◇				△	◇		
9	市道150号線-1	RC中実床版	市道第150号線	梶野町4-12地先	5.0	4.4	S47	II	R4		△	○	◇●				△	◇		
10	西之台橋	PCブレンテ桁橋	市道第312号線	前原町3-6地先	18.7	7.2	H8	I	R5			△	◇				△	◇		
11	大城橋	PCブレンテ桁橋	市道第319号線	前原町3-10地先	18.8	6.9	H7	I	R6			△	◇				△	◇		
12	市道363号線-1	PCブレンテ床版橋	市道第363号線	本町4-3地先	3.1	4.5	不明	I	R4		△		◇				△	◇		
13	浴窓館橋	RC桁橋	市道第410号線	緑町3-2地先	5.3	4.7	S55	I	R4		△		◇				△	◇		
14	市道417号線-1	RC中実床版	市道第417号線	梶野町3-3地先	3.2	4.4	S46	I	R4		△		◇				△	◇		
15	下中橋	RC桁橋	市道第588号線	緑町4-14地先	5.0	4.7	S54	II	R4		△		◇		○	△●		◇		
16	龜久保橋	RC桁橋	市道第597号線	緑町2-10地先	5.1	4.7	S50	I	R4		△		◇				△	◇		
17	弁天橋	PCブレンテ床版橋	市道第625号線	貴井南町4-20地先	15.1	7.2	H12	I	R6			△	◇				△	◇		
18	南陣屋橋	RC桁橋	市道第628号線	緑町3-3地先	4.3	4.7	S56	I	R4		△		◇				△	◇		
19	豊住橋	PCブレンテ桁橋	市道第666号線	前原町3-9地先	18.8	5.2	H5	I	R6			△	◇				△	◇		
20	市道689号線-1	RC床版橋	市道第689号線	梶野町4-3地先	5.0	4.4	S48	II	R4		△		◇				△	○	◇●	
21	中前橋	H鋼橋桁橋	市道第333号線	中町1-6地先	23.7	5.8	S52	II	R5			△	◇				△	◇		
22	天神橋	H鋼橋桁橋	市道第577号線	中町4-3地先	23.7	4.8	S53	II	R5			△	◇				△	◇		
23	貴井橋	PCブレンテ床版橋	市道第9号線	貴井北町3-38地先	10.4	9.7	S45	II	R5			△	◇				○	△●	◇	
24	貴井新橋	PCブレンテ床版橋	市道第394号線	貴井南町4-28地先	14.7	5.2	H11	I	R6			△	◇				△	◇		
25	荒牧橋	PCブレンテ床版橋	市道第561号線	貴井南町2-12地先	19.1	5.2	H6	II	R6			△	◇				○	△●	◇	
26	市道703号線-1	RC床版橋	市道第703号線	梶野町4-19地先	4.1	2.4	H8	II	R5		△		◇		○	△●		◇		
27	市道718号線-1	PCブレンテ床版橋	市道第718号線	梶野町4-12地先	5.2	4.6	S46	II	R5		△		◇				△	○	◇●	
28	市道724号線-1	PCブレンテ床版橋	市道第724号線	梶野町4-12地先	5.7	4.7	S46	II	R5		△		◇				△	○	◇●	
29	東緑橋	木橋	市道第245号線	緑町2-8地先	4.7	2.0	不明	III	R5		○△	●	◇				△	◇		
30	いちご橋	鋼橋桁橋	市道第582号線	東町1-13地先	21.0	2.6	S44	I	R6			△	◇				△	◇		
31	坂下橋	PCブレンテ桁橋	市道第3号線	貴井南町4-28地先	18.8	7.2	H9	II	R6			△○	●				△	◇		
32	市道5号線-1	RC床版橋	市道第5号線	梶野町4-20地先	2.9	12.0	不明	II	R4		△	○	◇●				△	◇		
33	富士見橋	RC桁橋	市道第12号線	緑町4-11地先	4.3	6.2	S55	II	R5		△		◇		○	△●		◇		
34	小長久保橋	RC桁橋	市道第28号線	緑町2-14地先	5.9	4.7	S54	II	R4		△		◇○	●			△	◇		
35	市道41号線-1	RC床版橋	市道第41号線	本町4-2地先	3.4	9.9	S42	II	R4		△		◇○	●			△	◇		
36	大城堀橋	PCブレンテ床版橋	市道第140号線	前原町3-3地先	22.5	8.0	S60	I	R5			△	◇				△	◇		
37	市道140号線-2	PCブレンテ床版橋	市道第140号線	前原町3-3地先	6.3	6.0	S42	II	R5			△	◇				△○	◇●		
38	丸山橋	H鋼橋桁橋	市道第399号線	中町4-3地先	25.9	9.0	S54	I	R5			△	◇				△	◇		
39	二枚橋	鋼橋桁橋	市道第573号線	東町1-7地先	28.4	6.7	S46	I	R5			△	◇				△	◇		
40	第三小学校北歩道橋	PCT桁橋	市道第1号線	梶野町4-5地先	40.0	1.5	S45	II	R6			△	◇				△	◇		
41	本町五丁目歩道橋	鋼橋桁橋	市道第1号線	本町5-33地先	38.4	1.9	S49	III	R6		○	●△	◇				△	◇		
42	市道471号線-1	RC溝橋 (BOXカルバート)	市道第471号線	貴井北町3-4地先	1.3	16.3	H20	I	R5		△		◇				△	◇		
43	市道823号線	RC溝橋 (BOXカルバート)	市道第823号線	貴井北町3-3地先	1.2	16.0	不明	I	R5		△		◇				△	◇		
44	平右衛門橋	鋼橋(ワイロ)ディール橋	不明	緑町3-15地先	12.3	4.1	H27	II	R5			△	◇				△	◇		
45	小金井新橋	鋼橋桁橋	不明	前原町2-17地先	23.8	5.2	S63	II	R5			△	◇	○	●		△	◇		
46	本町新橋	RC桁橋	不明	本町3-13地先	4.3	4.7	S45	II	R5		△		◇				△	◇○	●	
47	緑小橋	RC桁橋	緑小学校	緑町3-3地先	4.9	8.4	不明	II	R5		△		◇○	●			△	◇		
48	中緑橋	RC桁橋	緑センター	緑町3-3地先	4.8	6.3	不明	II	R5		△		◇○	●			△	◇		
49	仙川1	PCブレンテ床版橋	管理道路	本町4-4地先	4.8	4.0	不明	I	R5		△		◇				△	◇		
50	仙川2	PCブレンテ床版橋	管理道路	本町6-6地先	3.2	4.5	不明	II	R5		△		◇				△	◇○	●	
事業費合計 (百万円)										0	30	96	52	32	54	61	66	60	18	
概算対策費合計 (百万円)										469										

【凡例】 △：点検 ◇：計画見直し ○：補修設計 ●：修繕工事 □：撤去設計 ■：撤去工事

※ここで示した点検時期については、今後の情勢により変更の可能性があります。

# 小金井市管内図

## 【計画対象橋りょう位置図】

